

# 温室効果ガス削減で得た収入を 地域や環境のために活用したい。 合言葉は「人と環境にやさしいホテル」。

「人と環境にやさしいホテル」のコンセプトに基づき地元の特別養護老人ホームへの慰問、高島産食材にこだわった「地産馳走」メニューの展開、エコキャップ運動の旗振りなど、CSR活動に取り組む今津サンブリッジホテルが「第7回滋賀CSR経営大賞」を受賞しました。CSR活動になぜ取り組み、ホテル経営がどう変わったのかを紹介します。



ホテル支配人 永田久弥氏

「高島を育てた先人」へ敬意を払い特別養護老人ホームを慰問

「人と環境にやさしいホテル」というコンセプトを掲げるきっかけは何ですか？

永田 ● 2009年秋から空調や給湯設備の改修を実施し、温室効果ガス排出量を約70%も削減できました。設備改修をまかされた電力会社からの提案でこの成果を「国内クレジット制度（大企業が中小企業の削減を支援する制度）」に申請すると、県内承認の第一号となりました。設備改修の目的はランニングコストの削減。

国内クレジット制度に承認されたことで環境への意識が高まり、「人と環境にやさしいホテルを目指す」というコンセプトに従業員みんなで共有するきっかけになったのです。

以前はあまり意識が高くなかったのですか？

永田 ● 1994年の開業以来、地元高島市で「地域の皆さんが出会い、心をつなぐ場」でありたいと心掛け、社会貢献への意志も持ち続けてきたのですが、具体的な行動に踏み切れずにいました。しかし承認がきっかけで一歩を踏み出すことができた。国内クレジット制度では削減

したCO<sub>2</sub>を売却できるので、その収入で地域や環境のために何か貢献できることはないかと考え始めました。

りに合わせた最高のおもてなし。料理を召し上がるお年寄りの満面の笑みが忘れられません。

高島産食材にこだわった「地産馳走」に取り組む想い

永田 ● 一般職社員を軸にした「コン

セプト委員会」から、「高島を育ててくれた先人への恩返し」をしようとして発案されました。料理長など17人が出向いて「ピワマスのパイ包み焼き」「朽木産牛肉のハンバーグ」など高島の食材を使ったお料理6品とデザート2種をコース料理形式でもてなしました。心掛けたのは一人ひと

先方と何度も打ち合わせするなど入念に準備されたよつです。

永田 ● 咀嚼力や消化力が衰えたお年寄りが対象ということで、一人ひとりの食事のとり方を職員さんから情報収集するのに時間をかけました。一般食、きざみ食、流動食の3種に対応し、折り鶴の箸置きの色で分かるようにその方にあったお料理

を配膳しました。お粥も三分粥や五分粥など、個別に濃さを変え、普段とは別の細やかな配慮が随所に必要でした。苦労はありましたが、通常業務では得られない充実感が参加スタッフ全員の心を満たし、言葉にできない喜びを得られたことが最大の収穫だったと思います。同様の取り組みを今後も年2〜3回続けたいですね。

以前はメニューを決めてから電話で欲しい食材を調達してきましたが、いまは畑をまわって折々に穫れる野菜を確かめ、入手できる食材にあわせてメニューを考えるようになりました。手間は増えましたが、スタッフのやる気はかえって高まっています。同時に地元産の良質な素材と生産者の紹介にも力を入れていきたいと思っています。「地産馳走」のキャッチフレーズのもと、私どもの手で高島の魅力をどんどん発信していきたいですね。

CSRが従業員のやる気を高め収益力向上の結果をもたらした

永田 ● これもコンセプト策定後の意識変化の表れですね。「当ホテルを地場産品の発信拠点にしたい」と考えて無農薬・減農薬野菜をつくる市内の生産者さんと契約し、関わりを大切にしながら食材を仕入れています。

高島周辺の名所・史跡を訪ねる「湖彩倶楽部」、地元の酒造元で銘酒を楽しむ「酒楽会」を催すのも高島ブランド発信のためですか？

永田 ● ペットボトルの使用済みキャップを回収し、NPO法人へ送って途上国向けポリオワクチン購入資金にしてもらうのがエコキャップ運動です。高島市内の企業や学校等に協力を

呼びかけ、当初目標にしていた高島市の人口と同数（5万4千個）を11年3月に達成しました。現在は県人口と同じ140万個を目指しています。回収したキャップを洗うなどの作業も全セクションの従業員が参加しています。

CSRの取り組みでホテル経営に変化はありますか？

永田 ● 「人と環境にやさしいホテル」という姿勢に対し、周りから少しずつ良い評価をいただけるようになり、従業員の意識が大きく変わりました。やり甲斐を得ると人は変わります。実際、業務効率が目に見えて良くなり経営にも良い結果が出ています。気持ちの力はすごいものです。今後も地域の方、従業員と共に活動していきたいと思っています。



綿密な打ち合わせの結果、実現した特別養護老人ホーム「ふじの里」への敬老祝賀会慰問



「地産馳走」の実践には欠かせない契約農家との打ち合わせ



思いをメッセージで表したエコキャップ運動



近江商人の「三方よし」(売り手よし、買い手よし、世間よし)の精神に「環境配慮型経営」「社会貢献型経営」「地域特性型経営」「LOHAS型経営」を融合させた滋賀ならではのCSR経営。このコーナーでは、独自のCSR活動に取り組む企業を紹介します。

今津サンブリッジホテル <http://www.sunbridge-hotel.co.jp/>

- 所在地/高島市今津町今津1689-2
- 従業員/45名
- 開業/1994年
- 概要/客室総数55室、宴会場(和洋3会場)、会議室(大小3会場)、結婚式場(神殿・チャペル)、レストラン(和食・洋食)
- 経営母体/杉橋興産株式会社
- 代表取締役 杉橋和彦

Profile